

第二回リスナー参加型

天下一学問会

高校レベル

問題用紙

古典（古文・漢文）

作問者…いーんちよ

問題数…大問二問

記述式

解答時間…六十分

注意事項

- 一 解答は専用フォームから行うこと

次ページより問題を掲載

古典問題

第一問 次の文章は『竹取物語』の一部である。ここでは婚姻の申し出を断るために出されたかぐや姫の難題に対して、車持皇子が蓬萊の山にある珠の木から枝を持ち帰り、かぐや姫に渡した直後の場面である。これを読んで以下の問いに答えよ。

(ア) かかるほどに、男ども六人連ねて庭にいできたり。一人の男、文挾に文をはさみて申す。「作物所の寮の匠、漢部内磨申さく、『珠の木を作りて仕うまつりしこと、心を砕きて、千余日に力を尽したること少なからず。しかるに禄いまだ賜はらず。これを賜はり分ちて、けごに賜はせむ』^(注)といひてささげたり。竹取の翁、「この工匠等が申すことは何事ぞ」と傾きをり。皇子は我にもあらぬけしきにて、(1) 肝消えぬべき心地して居給へり。

これをかぐや姫聞きて、「この奉る文をとれ」といひて見れば、文に申しけるやう、「皇子の君千余日賤しき工匠等と諸共に、同じ所に隠れ居給ひて、(4) かしこき珠の枝を作らせ給ひて、『官も賜はむ』と仰せ給ひき。これをこの頃案ずるに、『御つかひとおはしますべき、かぐや姫の要じ給ふべきなりけり』と承りて、この御屋より賜はらむ」と申して「給はるべきなり」といふを聞きて、かぐや姫、暮るるままに思ひわびつる心地、(2) 笑ひ栄えて、翁を呼びとりていふやう、「誠に蓬萊の木かところ思ひつれ、かくあさましき虚事にてありければ、はや疾くかへし給へ」といへば、翁こたふ、「さだかに造らせたるものと聞きつれば、かへさんこといと易し」とうなづきをり。

かぐや姫の心⁽⁷⁾ ゆきはてて、ありつる歌のかへし、

(3) まことかと聞きて見つれば言の葉を飾れる玉の枝にぞありける

といひて、珠の枝もかへしつ。

(注)

1 けごー召使いなど家の者

問一 傍線部(ア)～(ウ)の解釈として、最も適当なものを次の選択肢から一つずつ選べ。

(ア) かかるほどに

- ① どうしたものかと
- ② かかりきりになっていると
- ③ こうしているうちに
- ④ しばらくすると
- ⑤ こまっているうちに

(イ) かしこき珠の枝を作らせ給ひて

- ① 立派な珠の枝を作らせなさって
- ② 賢く見えるように珠の枝を作らせなさって
- ③ 美しい珠の枝をお作りになって
- ④ 普通の珠の枝をお作りになって
- ⑤ 不釣り合いな珠の枝をお作りになって

(ウ) ゆきはてて

- ① 不安になって
- ② 落ち着かなくなつて
- ③ 心細くなつて
- ④ 疲れ果てて
- ⑤ 晴れ晴れとして

問二 傍線部(1)について、どうして皇子はこのような気持ちになったのか、その理由を述べよ。

問三 傍線部(2)について、どうしてかぐや姫はここで笑つたのか、その理由を述べよ。

問四 傍線部(3)の和歌について、これを現代語訳せよ。

第二問 次の文章は史記『項羽本紀』の一節『四面楚歌』の一部である。項羽は楚の王であったが、漢との戦いに敗れ東へ逃れている場面である。これを読んで以下の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点や送り仮名を省いている部分がある。

於^イ是^ニ、項王乃^チ欲^ス東^{シテ}渡^{ラント}烏江^ヲ。烏江亭長^(ア)檣^{シテ}船^ヲ待^ツ。

謂^{ヒテ}項王^ニ曰^ク、「江東雖^{ドモ}小^{ナリト}、地方千里、衆数十万人、亦足^ル」

王^{タルニ}也。願^{ハクハ}大王急^ギ渡^レ。⁽¹⁾今^リ独^リ臣^{ノミ}有^リ船^ヲ。漢軍至^{ルモ}、無^{カラン}以^テ渡^ル。」

項王笑^{ヒテ}曰^ク、「天之亡^{ボスニ}レ我^ヲ、我何^ソ渡^ル為^サ。且^ツ籍^ト与^ニ江東^ヲ、

子弟八千人、渡^{リテ}江^ヲ而西^{セリ}、今^ニ無^シ一人^ノ還^ル。」⁽²⁾縦^{ヒテ}江東^ヲ父兄^ト

憐^{シム}而王^{トスモ}我^ヲ、我何^ノ面目^{アリテカ}見^レ之^ニ。縦^ヒ彼不^レ言^ハ、籍独^リ不^レ

愧^ハ於^テ心^ニ。乃^チ請^{ヒテ}亭長^ニ曰^ク、「吾知^ル公^ノ長^{タルヲ}者^ト。」吾騎^{スルコト}此^ノ

五^ニ歳^ニ、所^レ当^{タル}無^シ敵^ヲ。嘗^テ一^日行^{ケリ}千^リ里^ヲ。⁽³⁾不^レ忍^テ殺^ス之^ヲ、以^テ賜^{ハント}

公^ニ。」

(注)

- 1 亭長―宿場の長 2 江東―長江下流一帯の地域 3 籍―項羽

問一 傍線部(ア)・(イ)のここでの意味は次のうちどれか、一つ選べ。

(ア)「様」

- ① 義理堅く
- ② 座って
- ③ 落ち着かないで
- ④ 準備して
- ⑤ 一人残って

(イ)「長者」

- ① お金持ちである
- ② 徳が高い人物
- ③ 知名度のある
- ④ 背が高い人物
- ⑤ 運命づけられた人物

問二 傍線部(1)を現代語訳せよ。

問三 傍線部(2)について、なぜ項王は再び王に即位しても面目が立たないと
言っているのか。その理由を述べよ。

問四 傍線部(3)を書き下し文にせよ。

問五 空欄Aに当てはまる文字を次の中から一つ選べ。

- ① 竜
- ② 座
- ③ 馬
- ④ 王
- ⑤ 牛